

平成30年度 学校評価報告書（目標設定）

視 点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取 組 の 内 容		
			具体的な方策	評価の観点	
1	教育課程 学習指導	<p>(1)教育課程研究開発校として新科目「公共」の教育課程研究開発に取り組む。</p> <p>(2)生徒の自立心を育てるとともに、社会参加の意欲を高め、問題解決能力を身につける教育課程を編成する。</p>	<p>①キャリア・シチズンシップ教育を基軸とした教育課程の研究開発を組織的に進め、実践的な取組の充実を図る。</p> <p>②主体的・対話的で深い学びの視点から、組織的な授業改善を推進する。</p>	<p>①全ての教科でキャリア・シチズンシップ教育を基軸とした実践的な取組を実施する。</p> <p>②-1 多様な学びの機会を組織的・計画的に実施し、基礎・基本の定着による学力の向上が図られたか。</p> <p>②-2 55分による授業の充実が図られたか。また、課題発見力や課題解決力の育成に立った取組が実践できたか。</p>	<p>①キャリア・シチズンシップ教育を基軸とした実践的な取組を企画・計画できたか。</p> <p>②-1 生徒による授業評価の全項目の肯定的回答がそれぞれ5割以上となったか。</p> <p>②-2 授業での発問の工夫や生徒の活動や発表の場が増えたか。</p>
2	生徒指導 ・支援	<p>(1)キャリア教育の視点から、生徒の規範意識の醸成に引き続き取り組む。</p> <p>(2)支援の必要な生徒に対して教育相談体制を確立する。</p> <p>(3)自己肯定感の向上に繋がる生徒支援方法を模索し、実現化する。</p>	<p>①身だしなみ、挨拶、時間を守る、身の回りの整理整頓を励行した生活態度の育成を図る。</p> <p>②職員間で生徒の情報交換と支援方策の共有化を進め、生徒一人ひとりに寄り添う指導・支援体制の構築を図る。</p> <p>③部活動、行事や生徒会活動など生徒の活動の場を拡大する。</p> <p>④生徒会や委員会など生徒自らの取組を全職員が支援し、安全安心な学校環境の整備を図る。</p>	<p>①頭髪、服装指導、チャイム前着席や携帯電話等電子機器の使用制限など、マナーアップ向上と生徒のモラル向上に取り組む。</p> <p>②-1 学校いじめ防止基本方針に基づき、未然防止のための取組や再発を防止する取組を推進する。</p> <p>②-2 教育相談の連絡体制と支援体制の充実を図り、教育相談等の機能の活用・連携を通じた生徒支援を充実する。</p> <p>③部活動・行事等と学習を両立し、自他を尊重し、豊かな経験が得ることができるよう指導・支援する。</p> <p>④生徒自らが考えて行動できる指導・支援を通して自主・自律的な生活態度や姿勢を身につけさせる。</p>	<p>①生活指導件数を1割減少させることができたか。</p> <p>②-1 学校いじめ防止基本方針に基づく取組(いじめが起きにくい、いじめを許さない環境づくり、定期的なアンケートの実施、校内研修会の実施他)を実施できたか。</p> <p>②-2 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等との連携が進んだか。</p> <p>③部活動加入率が前年を上回ったか。また、生徒の輝く姿を支援できたか。</p> <p>④生徒会や委員会活動の取組を通して、生徒会行事や学校行事に対する生徒の満足度が前年度と比較して上がったか。</p>
3	進路指導 ・支援	<p>(1)在学中のすべての教育活動を、キャリア教育の視点で展開する。</p> <p>(2)生徒全員が自分の希望する進路先に進めるよう、入学時から計画的・継続的に指導する。</p>	<p>①キャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を向上させ、生徒一人ひとりの勤労観、職業観が育まれるよう支援する。</p> <p>②日常的な学習習慣を確立させるとともに、学年段階毎に具体的な進路目標を設定させた進路指導・支援を行う。</p>	<p>①すべての教育活動において、生徒の自己肯定感や自己有用感が高められるよう指導・支援するとともに、自分の将来の仕事を自ら決定できるような取組を充実する。</p> <p>②学年進行に応じた学習環境の整備を進め、生徒の主体的学びを引き出す進路計画や指導・支援を実施する。</p>	<p>①-1 生徒一人ひとりのキャリア形成が図られるよう面接指導の充実が図られたか。</p> <p>①-2 コミュニケーション表現力が高められたか。</p> <p>②-1 進路目標達成に向け生徒一人ひとりに具体的なキャリアガイダンスが実施できたか。</p> <p>②-2 進路ガイダンス、三者面談、推薦説明会など、内容の充実や工夫を図り、生徒・保護者の満足度が高まったか。</p>

4	地域等との協働	<p>(1)コミュニティ・スクールを新たに展開することで、更なる地域との連携体制を推進する。</p> <p>(2)小中高の縦の連携を深め、地域に根差した教育を展開する。</p>	<p>①開かれた学校づくりと瀬谷西高校の魅力を様々なツールを活用して迅速な情報発信を推進する。</p> <p>②ホームページの更新に努め、魅力的なコンテンツや内容の充実を図る。</p> <p>③教育資源や外部人材に係る校内外のネットワークの拡大を図り、外部人材の活用や取組内容の充実を図る。</p> <p>④多様な学びの場の整備と学校間連携等の推進を図る。</p>	<p>①保護者や地域の方々や他校教員に対する授業公開を進めるとともに、中学生とその保護者への情報発信を学校行事やホームページで行う。</p> <p>②ホームページに掲載するコンテンツや内容の充実を進め、タイムリーかつ魅力的なホームページの作成に取り組む。</p> <p>③学校運営協議会制度に係る課題を整理し評価部会の立ち上げを実施する</p> <p>④三ツ境養護分教室との交流が充実したか。また、地域連携活動や他校種の職員交流を進め、連携や協働を図る。</p>	<p>①ホームページの閲覧者数を前年度比1割アップできたか。</p> <p>②ホームページに掲載するコンテンツのリニューアルや新企画の掲載ができたか。</p> <p>③学校運営協議会制度に係る課題を整理し評価部会の立ち上げができたか。</p> <p>④-1 三ツ境養護学校及び分教室や近隣小中学校との職員交流が図られる取組を実施できたか。</p> <p>④-2 地域と連携した災害図上訓練などが実施できたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>(1)職員の共通認識を深め、一体となった学校経営を推進する。</p> <p>(2)何よりも安全安心に基づく、信頼される学校作りに専念する。</p>	<p>①職員一人ひとりが自ら「参画」「協働」する業務意識の向上を図り、業務の見える化を通じた業務の標準化、効率・正確性の向上を推進する。</p> <p>②教育公務員としての高い倫理意識や法令遵守を徹底し事故不祥事の未然防止に全力で取り組む。</p>	<p>①定期的な業務状況の把握に努めるとともに、業務の無駄やムラを無くするための提案や担当業務毎にマニュアルを作成するなど業務処理の効率化と均一化を実施する。</p> <p>②定期的な事故防止研修を行うとともに、日常的な点検・確認を通して、業務の見直しを実施し、適正かつ効率的な事務処理を実施する。</p>	<p>①-1 業務の効率化や能率化に係る業務改善の提案があったか。</p> <p>①-2 担当業務のマニュアルの作成や引継書の作成ができたか。</p> <p>②-1 定期的な業務に係る日常点検及び事故防止研修が実施できたか。</p> <p>②-2 施設・整備の日常的な安全点検を通して迅速な修繕に努められたか。</p> <p>②-3 予算・決算、執行、業者選定等が適切に実施できたか。</p> <p>②-4 入学者選抜業務に係る事故ゼロを達成できたか。</p>